三重県内介護事業者・管理団体向け

インドネシア介護人材 理解促進のための オンラインセミナー



三重県は県内介護施設等の人材不足の解消のため、令和６年７月にインドネシア保健省との間で介護・看護分野の人材育成に関する覚書 (MOU) を締結しました。また、令和７年５月に Asosiasi Penyelenggara Pemagangan Indonesia (APPI) との間でインドネシア人労働者及びインドネシア人技能実習生の送出し・受入れ推進に関する協力覚書 (MOU) を締結しました。これら MOU に基づき、優秀なインドネシア人材の受け入れを促進するため、県内介護施設等を対象としたオンラインセミナーを開催します。

本セミナーは
MOUに基づく
インドネシア保健省公認
の事業です

インドネシア保健省管轄の国立医療福祉大学卒業生で、医療福祉系の有資格者を紹介します。
(看護師・PT・OT・歯科衛生士・栄養士・放射線技師)

ZOOMセミナー概要

日 時 2026年10月29日(木) 13時30分～14時30分 参加費無料

セミナー内容

13時30分～13時50分　三重県医療保健部からの事業説明

13時50分～14時00分　APPIの組織説明

14時00分～14時25分　インターンシップで来県予定のインドネシア人材の“生”の声



MUHAMMAD FRISYANO ARYA DENTA
19歳　SURABAYA保健省健康大学2年
出身　シドアルジョ(東ジャワ州・ジャワ島)

日本で看護・介護の経験を積み、将来は母国の医療・介護に貢献したい。日本語学習にも積極的。



HANIFAH RAMADHANI
20歳　第1JAKARTA保健省健康大学2年
出身　ジャカルタ (JAKARTA)

小児・母性・精神科など幅広い看護実習を経験。将来は国際的に活躍する看護師を目指す。



DESSY AZIZ AGUSTINI
20歳　MALANG保健省健康大学2年
出身　レンバン(中部ジャワ)

英語・BLS 資格・リーダー経験が強み。日本の医療・看護を学び、母国でその経験を共有したい。



IBNU GIBRAN
19歳　第3JAKARTA保健省健康大学2年
出身　ベカシ(西ジャワ州・ジャワ島)

スポーツ・絵・PC が得意。海外で長く医療経験を積み、将来は母国の医療・教育に貢献したい。

14時25分～14時30分　12月1日のマッチングセミナーのご案内

お申込み・お問い合わせ

申込締切
10月26日(月)17時

こちらの申込フォームよりお申込みください。

運営
APPI Mie Office
三重県津市羽所町700番地
059-269-6310 (担当者:岩田)
appi.mie00@gmail.com

協力　インドネシア保健省
Ministry of Health Republic of Indonesia

※本事業はAPPI Mie Officeが三重県から委託を受けて実施しています。

三重県
Mie Prefecture Government

三重県×インドネシア政府 連携事業

\三重県とインドネシア保健省のMOUに基づく公式プロジェクト/

インドネシア

本事業は三重県とインドネシア保健省のMOUに基づき、“インドネシア国立”医療福祉系大学の有資格者を紹介できるスキームとなります。
高学歴かつ安全な送出しルートからの人材を確保できるチャンスをご活用ください。



こんなお悩みありませんか？

- ✓ 人手不足が慢性化している
- ✓ 採用してもすぐ辞めてしまう
- ✓ 外国人採用に不安がある
- ✓ 教育・定着が難しい



その課題、インドネシア人材で解決できます

親日的で協調性が高い
日本文化への理解があり、チームでの協力を大切にします。

若くて意欲が高い
学ぶ意欲が高く、成長意欲のある人材が多数います。

定着率が高い
長期就業を希望する人材が多く、安定した戦力として活躍します。

APPIとは

APPIは、2019年6月にインドネシア政府の要請を受けて設立された、インドネシア人材の育成と海外就労支援を担う公的組織です。
私たちは、技能実習および特定技能制度を中心に、国際基準と日本国内の受入れ基準に合致した質の高い人材を安定的に輩出しており、約37,000人のインドネシア人材を日本に送出して参りました。(2022～2025年実績)
現在、APPIには専門知識を有する25の送出し機関が加盟しており、さらに2023年の政府新政策(P to P制度)を受け、正式認可を受けた53社の民間海外就労者派遣会社(P3MI)と連携した強固なネットワークを構築しています。
私たちは日本の労働力ニーズに的確に応えるとともに、インドネシア人材の日本派遣における準備から支援、管理に至るまで、責任あるガバナンスを維持し、信頼性の高い人材供給体制を実現します。

インドネシア人材について

- インドネシア国内には38校のインドネシア保健省管轄の国立医療福祉大学が設立されています。
- 38校中、23校の看護学科に「外国語(日本語) 学習センター」が設置されています。
- 毎年**約30,000人**の卒業生が輩出されており、多くの卒業生が三重県内での就労を希望しています 。
- 受け入れの際の在留資格は**「特定技能」**となります 。

なぜ安心して導入できるのか

三重県と連携した受け入れ支援

三重県と連携し、県内介護事業者様の人材確保をサポート。行政と民間が一体となって支援します。



インドネシア政府認定送出機関

インドネシア保健省公認の送出機関で、公的な基準を満たした安心の人材をご紹介します。

約37,000名以上の送り出し実績

2019年設立以降、37,000名以上のインドネシア人材を日本へ送り出してきた豊富な実績があります。

県×海外政府×専門機関の三位一体体制

だからこそ、安心して人材を受け入れることができます。

安心のトータルサポート体制

❶ ご相談	❷ 面接・選考	❸ 在留資格申請	❹ 入国・研修	❺ 就業開始	❻ 定着支援
まずはお気軽にご相談ください	貴社のニーズに合った人材を選定	ビザ申請などの手続きをサポート	来日前研修 入国後オリエンテーション	就業後も継続サポート	生活・業務の相談などきめ細かくフォロー

採用前から就業後まで一貫してサポートするので、初めての方でも安心です。

「採用して終わり」ではなく、長期活躍を支援します！

セミナー参加で得られること ― 参加無料 ― お申し込みはお早めに！―

優秀な人材を採用する方法と流れが分かる！

三重県とインドネシア保健省とのMOUに基づく、“インドネシア国立”医療福祉系大学の有資格者(看護師・助産師・栄養士・理学療法士など)の受入れスキームをご紹介します。